

TENRAN CAFEで「蓄音機で聴くSPレコード」を開催 2016年1月8日(金)～3月6日(日) ～六甲オルゴールミュージアム新収蔵蓄音機のお披露目も～

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社で、六甲山上で「六甲オルゴールミュージアム」「TENRAN CAFE」(テンランカフェ)などを運営している六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:岡本交右)では2016年1月8日(金)から3月6日(日)まで「蓄音機で聴くSPレコード」を開催します。

「蓄音機で聴くSPレコード」概要

- 会 期 2016年1月8日(金)～3月6日(日)
- 開催場所 TENRAN CAFE (六甲ケーブル山上駅隣接、天覧台内)
- 開催時間 14:00～、15:00～、16:00～ (各回約15分)
- 料 金 鑑賞無料
※ただし、TENRAN CAFEご利用(1オーダー以上)の方に限る
- 企画概要 大正から昭和初期にかけて日本でも普及していた蓄音機とSPレコードで音楽を鑑賞する企画です。蓄音機の最高峰と言われるビクトローラ・クレデンザを使って、往年の名盤を楽しみます。
また、店内にあるギャラリースペースでは、2015年11月に宝塚市在住の方から六甲オルゴールミュージアムに寄贈された、新収蔵蓄音機のお披露目展示を行います。



TENRAN CAFE 店内の様子



ビクトローラ・クレデンザ
(1926～30年頃 ビクター社 アメリカ)
当時の最新理論で設計され、臨場感溢れる再生音が特徴。
(所蔵:六甲オルゴールミュージアム)

◇実演レコード例

- ・「動物の謝肉祭」から「白鳥」(作曲:C・サン＝サーンス、チェロ:P・カザルス)
- ・「ユーモレスク」(作曲:A・ドヴォルザーク、ヴァイオリン:F・クライスラー)
- ・「テネシー・ワルツ」(歌:P・ペイジ)
- ・「宵待草」(作詞:竹久夢二、歌:ディック・ミネ)

◇展示例 六甲オルゴールミュージアム新収蔵蓄音機14台

- ・エジソン社製 アンブレラ30型(1915年頃)
- ・イギリス・グラモフォン社製 グラモフォン卓上型103型(1925年頃) など

《蓄音機特別コンサート》

- ・日 時 2016年2月7日(日) 14:00～15:00
- ・内 容 蓄音機の歴史や仕組について、トークを交えながら、SPレコードの音楽を楽しみます。クラシックの名盤から、往年のジャズの名演奏、懐かしい童謡まで、様々なジャンルの音楽を鑑賞します。
- ・案 内 六甲オルゴールミュージアム副館長 山川 佳乃(やまかわ よしの)
- ・料 金 鑑賞無料 ※ただし、TENRAN CAFE ご利用(1オーダー以上)の方に限る

《資料に関するお問い合わせ先》

六甲山観光株式会社 営業企画室 広報担当

TEL:078-894-2210(平日9:00～17:00)/FAX:078-894-2088 /E-mail: press@rokkosan.com

《TENRAN CAFE 営業概要》

【営業時間】11:00～20:30(L.O.食事19:30 ※金～日、祝は20:00/喫茶20:00)

【休業日】無休 【電話番号】078-891-1011

【所在地】〒657-0101 神戸市灘区六甲山町一ヶ谷1-32 (六甲ケーブル六甲山上駅隣接 天覧台内)